

自主学習の手引き

家庭を学びの環境に

～ 進んで学ぶ子どもを目指して ～



自主学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣をつけるためにもとても大切なものです。

もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方によってその育ち方は大きく変わります。

「継続は力なり」の言葉にあるように、計画的、継続的、丁寧な取り組みを積み上げ、身につけていくことが、後々大きな力を発揮するものになると考えます。

自主学習推進の参考資料として“自主学習の手引き”をご家庭で活用してください。

「自主学習の手引き」を通して育てたい子どもの姿

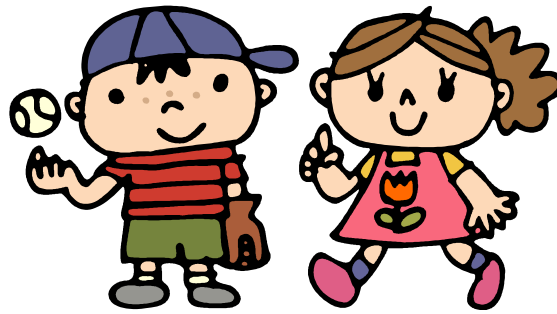
- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境作り
- 認め、励まし、対話のある温かいふれ合い



家庭で

進んで学ぶ力

心身の健康



- 基礎学力の定着を図り、知識や技能、学び方を教え、主体生を育てる学習指導



学校で

1. 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
2. 学習の習慣や方法を身につけた子ども
3. 生活時間の有効な使い方を身につけた子ども

1. 基礎的・基本的な学習内容とは…

おおまかに言うと、学校で学習する(教科書に載っている)内容のことです。特に、以下の内容は学年間でつながりますので、学習した学年で確実に身につけておかないと、次の学年で困ることになります。

- 教科書に出ている程度の文章をすらすら読むこと
- 教科書に出ている漢字を読んだり、書いたりすること
- 算数の教科書に出ている程度の問題を解くこと

～ 「わかった」ことを「できる」ようになるまで!! ～

※ ここでいう「できる」とは、「はやく、正しく、ていねいに」やれることをいいます。そのためには、繰り返し練習することが重要です。

2. 自主学習の方法や習慣づくり

(1) 自主学習の時間・態度

① 毎日、必ず学習する。

(10分×学年) + 10分以上を目安に取り組む。
4年生は、宿題と自主学習を合わせて50分の学習が目安です。

② 学習中は、テレビを消す。

③ 机の上をきれいにし、姿勢をよくして行う。



(2) 自主学習の内容

① 宿題をやる。

② その日の学習したことからたてた課題をやる。

→ 漢字や計算などの反復練習をする。

→ 学習した内容を、授業用ノートと見比べながら、教科書を読んだり、自主学習ノートにまとめ直したり、テストの問題を解き直したりする。

→ 他にも、次の日に学習する予定のところをまとめたり、音読・視写・暗唱したり、新聞を読んで考えをまとめたりする。また、習った言葉や真似してみたい表現を使って日記を書く。

3. 生活時間の有効な使い方

(1) 睡眠時間…「9～10時間」

小学生に必要なと言われている時間の目安です。必要な睡眠時間は、一人一人異なります。夜更かしをして睡眠不足になっていないか子どもと一緒に話し合い、早寝早起きの習慣をつくりましょう。

(2) メディアに触れる時間…「1日2時間以内」

平日、家でメディア（TV、ゲーム、インターネット、携帯電話など）に触れる限度としての時間の目安です。家庭での約束を決めて、十分な学習時間や睡眠時間などを確保しましょう。

コラム「伸びる子ども」の4つのタイプ

「勉強のコツがよくわかる本」より引用

★丁寧に組み立てる子 ★まじめに取り組める子 ★挑戦する子 ★最後までやる子

※1つでもあれば大したもの。これらの条件は「備わったもの」ではなく「育てるもの」であり、2年間でできるようにさせられたら上等である。

※上達は、毎日少しずつ訪れてくるのではない。毎日毎日、少しずつ貯金したものを、いっぺんにドーンと返してもらうように訪れるのだ。

2年生の かてい学習では…

もくひょう

- ★ 家に 帰ったら すぐに しゅくだいを しましょう。
- ★ 買ってもらったドリルも、少しずつ やっていきましょう。
- ★ まい日 **30分**いじょうは 学習しましょう。
- ★ テレビを 見ないで やりましょう。

かてい学習のまえに

- ☆学校からのお手紙は、お家の人に わたしましたか。
- ☆べんきょうする場所は、かたづいていますか。
- ☆しせいや えんぴつの もち方は 正しいですか。



～ こんなやり方で やっていきましょう ～



学習	やり方
かん字 書き写し	<ul style="list-style-type: none"> ☆手本の字の形を よく見て、ゆっくり 書きます。 ☆「とめ」「はね」「はらい」に 気をつけて 書きます。 ☆正しい書きじゅんで なんども 書きます。 ☆正しいしせい で 書きます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ☆プリントやドリル、教科書の もんだいを やります。 ① まずは、ゆっくり 正しく 計算できるようにします。 ② 正しく計算できるようになったら、少しずつ はやくできるように れんしゅうします。 ③ まちがった もんだいは かならず 見直して、もういちど やり直します。 ☆自分で もんだいを作って といてみます。
音読	<ul style="list-style-type: none"> ☆楽しみながら、大きな声で 読めるようにします。 ☆、や。に 気をつけて、すらすら 読めるように れんしゅうします。
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ☆けんぱんハーモニカが 上手にふけるように れんしゅうするのも いいですね。

かてい学習のあとに…

- ☆時間わりをたしかめて、明日のじゅんびを します。
(教科書やノート、明日つかう道具を そろえる。)
- ☆えんぴつは けずりましたか。

